

# 活断層の地震に備えて

## 1896年陸羽地震から125年 防災・減災をすすめましょう

明治時代の1896年8月31日、秋田県、岩手県の県境付近でマグニチュード7.2の地震が発生し、秋田県仙北を中心に、秋田県、岩手県で死者209名、家屋の全壊5千戸以上の災害となりました。

この地震は、秋田県、岩手県にある2つの活断層が動き地震が発生したと言われています。活断層は陸域の浅い所で過去に繰り返し地震を起こし、将来も地震を起こすと考えられる断層です。

1995年阪神・淡路大震災や2016年熊本地震等も活断層の動きによって発生した地震です。日本周辺には約2千もの活断層があり、それ以外にもまだ見つかっていない活断層があると言われています。

過去の活断層地震からの教訓を活かし、将来発生が懸念される活断層地震に備え、自分や家族の生命、財産を守る防災・減災をすすめましょう。

わたくしたちは、今後とも、地震・噴火・津波の備えとしての地震保険が生活再建の力になることをお伝えすると同時に、ご家庭での地震防災・減災について呼びかけを行います。

### 1. 1896年陸羽地震の概要

1896（明治29年）年8月31日午後5時6分、マグニチュード7.2の地震が発生し、秋田県仙北を中心に、秋田県、岩手県で死者209名、家屋の全壊5千戸以上の災害となりました。

この地震は秋田県の横手盆地東縁断層帯の北部とその東に位置する岩手県の真昼山地東縁断層帯の北部が活動しました。

わずか2か月前には岩手県で明治三陸地震が発生し大津波により甚大な被害があったばかりでした。

### 2. 家庭での地震防災・減災（ご参考）

活断層地震は陸域の浅い所で起きるため、緊急地震速報が間に合わないことがあります。このため、突然の激しい揺れに備えた事前の備えが大切です。

住宅の耐震化、家財の転倒防止、電気火災・通電火災の防止をすすめましょう。

また、活断層地震の場合、揺れの大きかった場所では、その後も大きな揺れの地震に警戒が必要です。活断層地震であった2016年熊本地震では、最大震度7の地震が2回発生しています。

ご自分の住んでいる地域に活断層がないか各自治体のハザードマップ、被害想定で確認しましょう。

### 3. 地震保険に加入しましょう。

地震保険は、地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする火災・損壊・埋没・流失による損害を補償します。

当社では、地震保険の付帯率向上と防災・減災の活動を通して、国連サミットで採択された SDGs (Sustainable Development Goals) の達成に向け今後も取り組んで参ります。



以上

\*\*\*お問合せ先\*\*\*

日本地震再保険株式会社 管理・企画部（企画・広報担当）鹿野広幸

電話 03-3664-6078 FAX 03-3664-6169 Eメール [kikaku@nihonjishin.co.jp](mailto:kikaku@nihonjishin.co.jp)